

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	脳卒中の便秘患者における内服薬の実態調査			
② 実施予定期間	承認後～ 2026 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	回復期リハビリテーション病棟入院中の便秘患者			
④ 対象期間	2025 年 1 月 1 日～ 2028 年 6 月 30 日			
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリアヘルスケアセンター			
⑥ 対象診療科	リハビリテーション科			
⑦ 研究責任者	氏名	佐藤友紀	所属	ヘルスケアセンター看護部
⑧ 使用する資料及び情報等	診療情報より下記事項を調査します。 年齢、性別、診断名、機能的自立評価、運動麻痺の程度、麻痺側、認知機能、高次脳機能評価、身長、体重、食事内容、処方された薬剤の種類、排便回数・性状			
⑨ 研究の概要	脳卒中患者は、発症後に有意に便秘になりやすいと報告され、その要因として疾患の特徴から高齢者が多いことや、治療のために多くの薬剤を服用していること、片麻痺などの運動機能障害や高次脳機能障害の影響により、トイレへの移動が困難になること、排便に他者の介助を要し、落ち着いた環境で排便が出来ないことなどが指摘されています。先行研究では、脳卒中患者の便秘有病率は、30-60%と報告され便秘のケアは重視されています。 しかし、これまで脳卒中便秘患者の内服薬の実態について調査した報告はありません。そこで、本研究の目的は脳卒中の便秘患者が服用している内服薬の実態を調査し、便秘患者の内服薬の特徴について明らかにすることです。内服薬の実態を明らかにすることによって、排便ケアに対するアセスメントや看護ケアの選択が期待できます。			
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします			

⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、使用しません。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報が公開されることはありません。	
⑬ 知的財産権	聖マリアヘルスケアセンターに属します	
⑭ 研究の資金源	特にありません	
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません	
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリアヘルスケアセンター看護部	
	電話	0942-35-5522